

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ナノデス・エイト	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.570	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ナノデス・エイト

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：アキュライン・ツアープレミアムⅢ

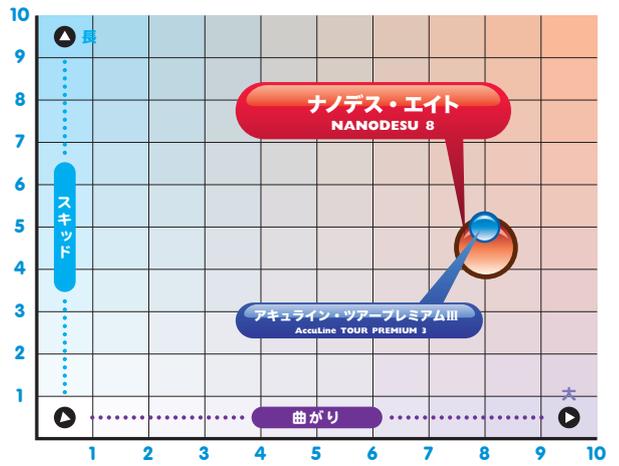
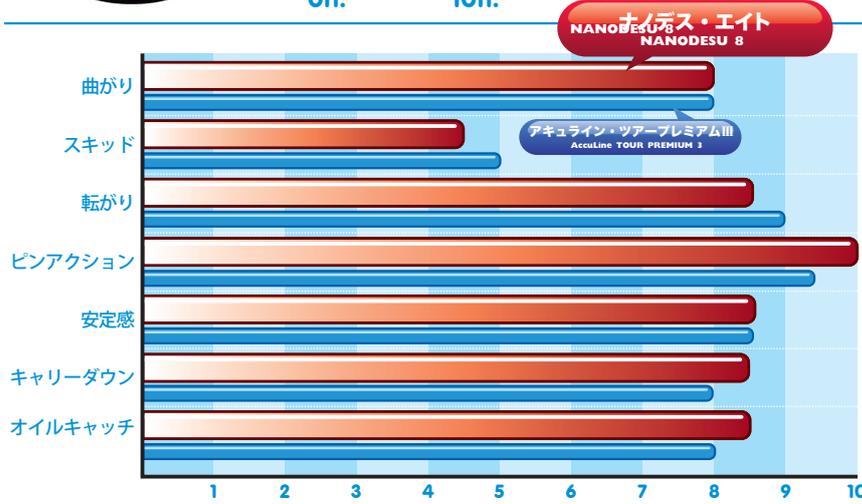
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

日本唯一のボール工場の日本エポナイト。長年にわたる地道な研究から生み出されたナノデスシリーズはABSで取り扱う中でもトップクラスの売り上げを誇る製品となり、今なお自負たる「匠製法」と常に進化を求める研究姿勢は日本エポナイト社のこだわりと言っても良いでしょう。その日エポナイト社から業界をリードするヘビーウエイトの8ポンドのコアを有するナノデス8(エイト)をご紹介します。

NANODESU 8(エイト)のネーミングは新型8ポンドコアの”8”から来ており、∞(無限)の可能性という意味も含まれています。新型の8ポンドコア、Nano-Thane2.0 Solid Reactiveで3000アブラロン加工。コアが8ポンドになることでリアクションとして感じられるパフォーマンスが今までとかなり異なります。私が感じる8ポンドコアの恩恵は、基本設定でコアが8ポンドになるとコア自体の慣性は高くなる傾向にあり、直進性が上がっている感じがします。走りやすさと共にピンキャリーに絶大な強さを感じられるのも、8ポンドコアの重さが影響しているのは明らかで、ナノデス独自の衝撃吸収コアシステムを抜きにしてもヒッティングパワーは別次元の倒し方を感じられます。

8ポンドコアの特性を活かすために様々なカバーと表面加工でテストングを行ってきましたが、今回のNANODESU8は高い慣性を活かした直進力を損なわせないためのNano-Thane Level2とブレーキングの役目を果たす#3000アブラロン加工でMediumHeavyからMediumで抜群の運動性とピンキャリーを実現します。柔らかさよりは甲高いサウンドと共に現れるピンキャリーの強さは、爆発力がナノデス史上最高とも言える想像以上の飛びを感じて頂けると思います。特殊製法につき個数限定で発売致します。売り切れ必至のため、早めにオーダーをお願いします。

特記事項

ABSで初の8ポンドコアをナノデスシリーズで限定発売。
8ポンドコアの恩恵とも思われる直進力とヒッティングパワーは別次元の強さを誇ります。